

市報

とす



市制施行40周年

平成 6 年

4/1 号

No.755

うるおいと活力あふれ未来にはばたく交流都市

昭和二十九年四月一日、鳥栖町、田代町、基里村、麓村、旭村の五町村が合併し、鳥栖市が誕生。九州交通の要衝という位置エネルギーを生かした工業都市として発展してきました。

今年、市制施行四十周年を迎えるに当たり、鳥栖市のさらなる発

▼4月

子ども舞台祭典

優れた生の舞台にふれる感動と体験で子供たちの心を豊かにする佐賀県子ども舞台祭典が地区公民館で開かれます。

●人形劇「西川禎一・おひとり座」：四月二十一日(木)午後六時半、基里公民館

●劇団道化「三人のひょうげもん・パートⅢ」：七月十九日(火)午後六時半、鳥栖北公民館▽同日(水)午後六時半、田代公民館▽同二十一日(木)午後二時、鳥栖公民館

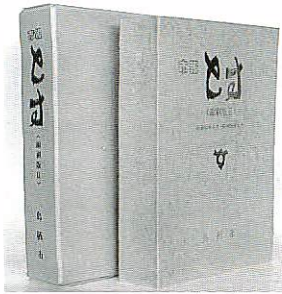
いずれも大人も子供も一人九百円。詳しくは鳥栖子ども劇場(☎7415)へ。

ヤマメ2万匹放流

豊かな緑に囲まれ魚の泳ぐ溪流を復活するため、安良川、沼川の上流にヤマメの稚魚約

【市報の縮刷版を限定出版】

平成元年に発刊した市報縮刷版の続刊として、昭和四十五年四月一日号(No.一八〇)から同五十八年四月一日号(No.四九二)までの十三年間分を



40周年 記念事業

二万匹を四月二十四日(日)午後二時から、河内町、牛原町、立石町の三地区四か所で、地元住民のみなさんの手で一斉に放流します。

収録した『市報とす(縮刷版Ⅱ)』を記念出版します。

市政のあゆみ、身近な市民生活の移り変わりが生き生きとよみがえる、鳥栖市の現代史ともいべき一冊です。

B5判、ケース入り、約千ページで定価四千八百四十円。八百部の限定出版です。購入ご希望の方は、四月中旬に各家庭や事業所にお配りする申込書でお申し込みください。配本は四月末からの予定です。

▼7月

ニジマスつかみどり

市では夏のシーズンを前に毎年七月、御手洗の滝と四阿屋の山川開きを行っています。今年はこの山川開きと同時に、水遊びの newName 所として定着した御手洗の滝河川プールでニジマスのつかみどり大会

展と地域活性化、そして市民のみなさんに愛される住みよいまちづくりを進めていくため、市民参加による多彩な催しを行います。

日時や場所など詳しい内容はそのつど市報でお知らせします。盛りだくさんの記念事業にご家族でおいでください。

を七月十七日(日)に行います。体長三十センチのもの千三百匹を河川プールに放流して子供たちにつかみどりを体験してもらい、水遊びの楽しさを感じる分味をもってもらうことにしています。

三市交流「物産展」

市名に「鳥」のつく鳥栖市、鳥取市、鳥羽市の三鳥都市間で

▼8月

【とりごえファームフェスティバル】

とりごえ荘とその東隣に四月二十日オープンする滞在型農園施設「やまびこ山荘」など、河内ダム周辺を活用した

交流は、これまで少年少女派遣やしゃんしゃん傘踊り一行の来鳥などで交流を深めてきましたが、今年は七月三十一日(日)のまつり鳥栖の中で、三都市の名物や特産品をそろえた物産展を開きます。それぞれの郷土芸能の出演も交渉中ですので、実現すればより一層盛り上がりのあるまつり鳥栖が期待できそうです。

佐賀牛一頭分の焼肉大会やバード橋下流の河川プールでの魚のつかみどりのほか、ダム湖畔の多目的広場では野菜の直売、市民の森で宝さがし、とりごえ荘とやまびこ山荘ではもちつき大会やおにぎりの配布などを行う予定です。

▼5月:

【記念式典と親子コンサート】

市制施行四十周年記念式典は五月七日(土)午前十時から市民文化会館で開きます。

式典では特別自治功労者への感謝状の贈呈、市政功労者の表彰、市民栄誉賞の授与をはじめ、市民のみなさんから



アンケートで選んでもらった「市の鳥」の発表、アトラクションでは市文化連盟による謡曲と日舞、市制施行当時に舞った牛原の獅子舞が披露され、四十周年を祝います。

午後六時から「トラや帽子店」のトリオによるコンサートが開演。子供から大人まで親子で楽しめる内容です。

入場申し込みは、往復はがき往信用の裏面に住所、保護者氏名、お子さんの名前、年齢、電話番号、返信用の表面にあて名を明記し、四月八日までに鳥栖市役所総務課庶務係(〒841鳥栖市宿町一一一八番地 ☎3506)へ。

▼6月:

【堺屋太一氏を招き記念シンポ】

古代から交通の要衝として様々な文化や技術を受け入れてきた鳥栖。今、古代テクノポリスの栄光をステップに理想未来都市に向けて大きくはばたこうとしています。

そこで、鳥栖の古代と未来を市民のみなさんとともに考える記念シンポジウム「鳥栖の栄光の歴史と明日」を六月五日(日)午前九時半から市民

文化会館で開催。堺屋太一氏の基調講演をはじめ、銅鑼と銅鼓の謎、弥生のハイテク技術、未来都市鳥栖——などをテーマに、映像リポートや対談、フォーラムを織り交ぜながらその実像に迫ります。

この記念シンポに向け、各分野の専門家を招いてテーマごとに研究討論する「研究フォーラム」を次のとおり開き

応募は鳥栖市民一家族一通に限り、先着千五百人で締め切らせていただきます。お子さんだけの入場はできません。

5月15日は鳥の日

鳥の写真展、習字コンクール作品の展示、鳥のスケッチ大会や巣箱作りなど、自然と野鳥保護を再認識する催しを五月十五日(日)に行います。

5月22日は花の日

五月二十二日(日)、市役所前広場で開きます。自衛隊音楽隊による花のコンサート、花の絵コンクール作品の展示、花の写真展、花のスケッチ大会や押し花教室、花苗の配布、花の名前当てクイズのほか、鳥栖菊花会による菊苗配布も行われます。

▼10月:

県民ふるさと文化まつり

第三十三回鳥栖市文化祭と合わせ、県芸術祭第三十五回県民ふるさと文化まつりの開会式が十月二十三日(日)に市民文化会館で開かれます。

開会式では鳥栖三神地区十二市町村による郷土芸能の披露、式典のあと、筑紫美主子一座による特別公演が行われます。鳥栖市文化祭は十月三十日から十一月八日まで開か

▼11月:

テクノフェア

昭和五十九年に地域指定を受けた久留米・鳥栖テクノポリスは、今年九月で十周年を迎えます。これを記念して、テクノポリスの意義を再認識する記念事業が行われます。

特に十一月十日(木)から十二日(土)までの三日間、久留米リサーチビルで開かれるテクノフェアでは、この十年間の事業の実績の紹介、これまでに開発された製品の展示、福岡・佐賀両県と二市五町のテクノポリス事業の紹介が行われます。

れる予定です。

少年野球秋季大会

他に類をみない町区単位のチーム編成と組織で、毎年春秋二回の大会を開いている鳥

【NHK公開録画「健康フェア」】

第十回市民健康福祉まつりとNHK健康フェアを十月十六日(日)、市民公園一帯で同時開催。健康・体力づくりに関する講演会、シェイプアップ体操のほか、恒例の市民健康福祉まつりの内容を一層充実し、健康をテーマとした総

▼2月:

すこやかフェスタ

市民のみなさんの健康づくりの拠点となっている保健センターの事業内容PRを兼ね、来年二月(予定)に同センターで「すこやかフェスタ」を開きます。

育児用品バザーや泣き相撲大会、おやつ紹介などの「母と子のコーナー」、ガン検診や体力測定、生命の貯蓄体操などを紹介する「成人病予防コーナー」のほか、リハビリコーナー、力もちつきコーナーなど健康づくりに関する楽しい催しを予定しています。

文化事業協会でも多彩な催し

鳥栖市文化事業協会でも市制四十周年を記念した多彩な催しを予定しています。四月二十九日(祝)の「ポリシヨイ舞台サーカス」を皮切りに、劇団四季のミュージカルが二本、桂三枝の納涼寄席、中山美穂コンサート、NHK交響楽団、大林宣彦監督の講演と代表作品の上映、映画「七人の侍」、そのほか盛りだくさんの内容でこの一年間、みなさんの来館をお待ちしています。詳しくは随時、市報でお知らせします。

市民の福祉向上を目指して

市制四十周年記念事業、多目的スタジアム建設設計、ごみ指定袋制・シール制などを盛り込んだ平成六年度予算が三月定例市議会にて可決され、各種の事業がスタートしました。一般会計予算は一四八億一九三一万四千円で、前年度当初予算に比べ〇・一％の減となっていますが、福祉の充実をはじめ教育文化の向上、生活環境の整備など、市民の福祉向上を目指し、地域に密着し調和のとれたまちづくりを進めていきます。以下、主な内容をご紹介します。



多目的スタジアム建設予定地

市 制四十周年を記念し、五月七日の記念式典を

はじめNHK交響楽団コンサート、都市住民と農家のふれあいを柱とした「とりこえファームフェスティバル」など、市民のみなさんに楽しんでいただける各種事業を計画しています。また、急激な社会情勢の変化と市民の多様なニーズに対応するため、総合計画の基本計画を全般的に見直す改定作業に着手します。

地

地域活性化と若者の定住化を目指すプロサッカーホームタウン誘致については県営陸上競技場が代行スタジアムとしても使用できるよう改修が計画され、PJMFユニチャームもチームの強化と地域に密着した下部組織づくりを進めています。市ではPJMFユニチャーズのJリーグ準会員資格取得のための条件整備について最大限の努力を行っており、本年度中にはスタジアム建設に着手する計画です。域福祉の推進では、社会福祉協議会が事業主

特別会計

(単位：千円)

国民健康保険	3,483,693
老人保健	4,664,881
下水道	2,964,618
農業集落排水	167,058
鳥栖駅東土地区画整理	563,183

水道事業

(単位：千円)

収益的収支	収入 1,100,761
	支出 1,059,225
資本的収支	収入 591,555
	支出 859,835

年

々増え続けるごみ対策として、今年八月から指定袋制による分別収集、粗大ごみの指定シールによる戸別収集を実施します。これに伴い、四月からこれまでの定額のごみ処理手数料を廃止し、本年度に限り一般家庭一世帯当たり可燃物用ごみ袋八十枚、

水

不燃物用ごみ袋二十枚を無料配布するほか、環境美化推進員の市内全地区への配置、資源回収奨励金の拡充などを行います。

雇

田舎農活性化対策事業では、昨年度に引続き転作田の団地化促進、転作物の生産性向上、後継者や地域リーダーの育成に努め、農業経営の安定と所得の向上を図っていきます。

緊

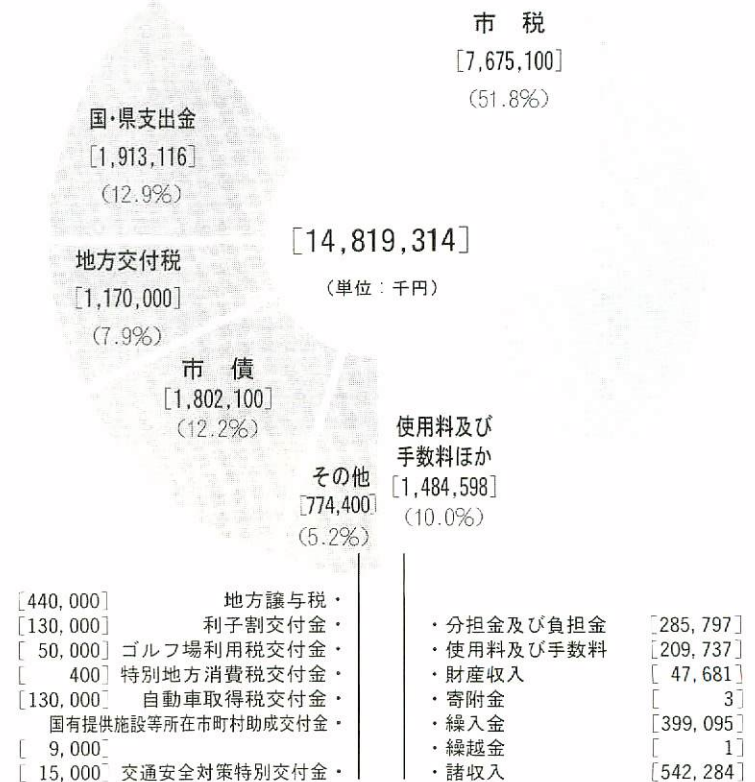
急地方道路整備事業の轟木・村田線と大刀洗・立石線、地方道路整備事業の荻野・柚比線、防衛施設周

歳出 ●予算と主な事業 (単位：千円)

合 計	[14,819,314]
議 会 費	[310,856]
総 務 費	[1,869,939]
民生費	[2,468,212]
衛生費	[1,506,930]
労働費	[127,557]
農林水産業費	[483,811]
商 工 費	[279,141]
土 木 費	[4,242,351]
消 防 費	[538,960]
教 育 費	[1,590,285]
災害復旧費	[243]
公 債 費	[1,328,710]
諸 支 出 金	[6,000]
予 備 費	[66,319]

歳入

自主財源61.8% ☐
依存財源38.2% ☐



辺整備事業の村田町住宅・平田線については、用地の取得や歩道新設、道路改良などを行い、幹線道路の整備を進めていきます。秋光川ジョギングロード整備事業では、河川の堤防敷を利用した周回コースや休憩施設を整備します。長年据え置いていた市営住宅使用料を本年六月から改定することになりましたが、今後とも住宅の補修などにより住環境の整備に努めていきます。公園事業では市民公園、中央公園、北部丘陵新都市関連の田代公園、東公園の整備を進め、朝日山公園には身体障害者用トイレを設置します。県では都市緑化事業として花の名所を花の道で結ぶ「花

と緑の回廊づくり」が検討されていますが、本市では本年度、鳥栖駅前を中心に実施し、年次計画で都市景観の整備を進めていきます。北部丘陵新都市開発整備事業は現在、地域振興整備公団による宅地造成工事や幹線道路工事などの基盤整備のほか、仮換地指定に向けての諸手続きが進められています。本年度は前年度に引き続き、文化財発掘調査、造成工事を行うために必要な土地使用承諾の取得や建物の移転など関係地権者との協議を進めていきます。昨・中・小の全面改築は、最後にすべて終わりました。今後は年次計画で大規模改造

を行い、本年度は田代小学校の管理棟、特別教室棟、屋内運動場の屋根などの改修を行います。また、なかよし学級の施設も年次計画で改築することにし、本年度は麓小学校のなかよし学級を全面改築します。生徒の語学指導を行う外国青年を本年度から一人増やし、生徒の語学力向上と国際交流を進めていきます。文化財保護では、開発に伴う遺跡の確認調査、ほ場整備地区内の遺跡調査、城山山麓の史跡調査を実施します。保健体育関係では長寿社会づくりソフト事業や各種スポーツ教室の開催などにより、地域スポーツの振興と体育施設

在宅福祉サービスを充実「老人保健福祉計画」



人口の高齢化が急速に進んでいます。人生八十年の時代を迎え、生き生きと生活できる長寿福祉社会を実現するためには、お年寄りが住み慣れた地域で生きがいを持って安心して暮らせるかどうかカギ――。市ではこの三月に策定した「鳥栖市老人保健福祉計画」(目標年度平成十一年度)をベースに、保健、医療、福祉を連携させた高齢者福祉の向上を目指します。

実態に即したサービスプラン

鳥栖市の六十五歳以上の人口は平成六年二月末現在七千五百六十人で全人口の一三・四%、これが平成十一年には九千八百二十四人、一七・二%に増える見込みで、二十一世紀には四人に一人がお年寄りという超高齢化社会になる勢いです。

老人保健福祉計画ではその対策の指針として、保健センターを拠点とした健康づくり、在宅サービスと施設サービスの内容充実、市民参加による推進体制の確立、高齢者の交流拠点の形成、高齢者や障害者にとって住みよい環境づくりの五項目を掲げ、特に在宅福祉の三本柱であるデイ・サービス、ショートステイ、ホームヘルプサービスにさら

に力を入れ、家族の負担を軽減させることにしています。

計画策定に当たっては、対象となる虚弱・寝たきり・痴呆性といった要援護老人に病弱なお年寄りを加えた判定基準に、ひとり暮らしや老夫婦老人のみ、同居老人といったそれぞれの家庭構成を加味し、より一層実態に即したきめの細かいサービスプランを作り上げています。

また、サービスの種類ごとに目標年度時点での必要量を推計し、それぞれの提供体制の目標を掲げています。

在宅福祉充実で家族負担を軽減

お年寄りや家族から喜ばれているデイ・サービスは、リフトバスでデイ・サービスセンター(真心の園)まで送迎し、健康チェックや生活指導、



第二の在宅福祉サービスの拠点・高齢者福祉センター(仮称)の建設予定地

入浴、給食などのサービスを行う通所事業と、家庭を訪問して給食や入浴のサービスを行う訪問事業があります。現在、通所事業は週に一人一回の利用となっていますが、

これを十一年度までにデイ・サービスセンターを四か所に増やし、週に三回利用できるように体制づくりが必要で、配食車で昼食を自宅に届ける訪問給食サービスは希望に応じて週二回から六回まで、また、寝たきりのお年寄りをデイ・サービスセンターで入浴させる入浴サービスは現在の月二、三回の利用を週一回にし、通所または訪問のいずれかの方法で入浴してもらいます。そのためには入浴サービス車を一台、デイ・サービスセンターを一か所増やす必要

があります。

介護する家族の方が病気になるったり、冠婚葬祭など外せない用事のときに、短期間お年寄りを施設で預かるショートステイは、登録者一人当たり年に三回から八回の利用が見込まれるため、ベッド四十床が必要とされます。このため、近隣の施設を活用し、ニーズに対応していきます。また、ホームヘルプサービスは週四回の利用ができるようにし、一回当たりの時間も二時間までに拡充する必要があります。このためにはヘル

パーを現在の九人から二十六人に増員することになります。これらが実施されれば、例えば寝たきりのお年寄りの場合、ホームヘルプサービスが週四回、デイ・サービスが週一回、また、家族の状況に応じてショートステイを年に八回受けられることとなります。さらに、看護婦による週二回の訪問看護サービス、保健婦による月一回の訪問指導、栄養士と歯科衛生士による訪問指導が年一回受けられることになり、介護している家族の負担が一層軽減されます。

高齢者福祉センターを建設

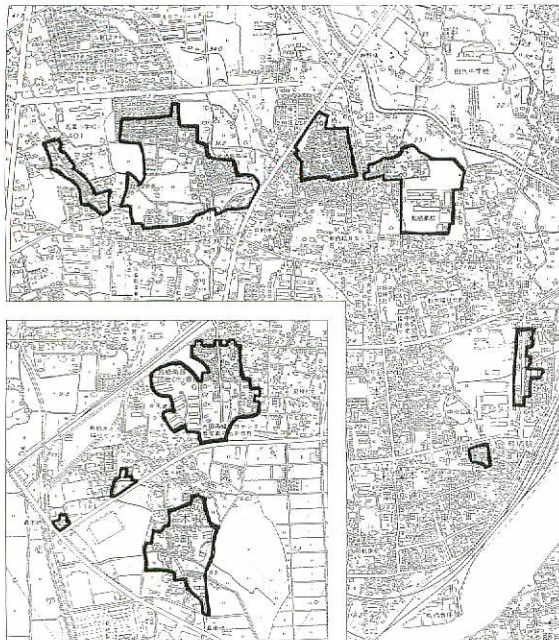
計画実施の第一歩として、保健センターの北側に中央老人福祉センターを移転し、真心の園に次ぐ第二の在宅福祉サービスの拠点として、在宅介護支援センターとデイ・サービスセンターを併設した高齢者福祉センター（仮称）を建設する計画です。本年度の当初予算に建設のための基本設計委託料を計上しており、平成七年度には建設に取り組み予定です。

高齢者の九割を占める元気なお年寄りのためには、老後を楽しく生きがいのあるものとするため、健康づくり活動や健康診査などの保健サービスの充実はもちろん、これまで培ってきた技術や能力をシルバー人材センターなどで生かしてもらうほか、高齢者同士や地域とふれあう交流の場を創造するなど、お年寄りが積極的に社会参加のできる体制づくりを進めていきます。

これらの事業を推進するには、地域住民の主体的参加による福祉社会づくりが重要と理の経費に充てられます。市では、これからも毎年三十程度の使用区域拡大を図っていく予定です。市民のみならずのご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは下水道課（☎3542）へ。

下水道の供用を開始

萱方、古賀、今泉など36haで



下水道は、平成二年三月に使用を開始以来、同五年三月末までに三三七・五haの整備を終え、現在二千二百世帯、六千五百人のみなさんが利用されています。今年は新たに上図のとおり今泉町、萱方町、古賀町など約三十六haで使用を始めます。

下水道が完備されればトイレの水洗化で快適な生活が送れるのはもちろん、河川の水質汚濁や悪臭を防いで美しい川がよみがえり、清潔で住みよいまちに生まれ変わります。水洗化工事の受け付けは、市の指定下水道工事店で行っています。水洗化工事のための融資制度もありますので、

上・下水道使用料 一枚の納付書で同時納入に

水道料金と下水道使用料の納入通知書を四月（三月検針分）から簡素化。上・下水道使用料を一枚の納付書で納入できるようにしました。

上・下水道利用者の方で、口座振替を利用するみなさんには、下水道使用料は「下水道領収書」を送付してしまし

また、飯田町農業集落排水施設使用料も五月検針分から下水道と同じ取り扱いになります。なお、名義、納付書の送付先、納付方法などは、すべて水道料金と同様または同様の方法に統一しますので、ご了承ください。

問合わせは下水道課（☎3542）または水道課（☎3538）、耕地課（☎3566）へ。

ゆずの合い 笑顔とマナーで 安全運転

春の交通安全県民運動
●4月6日～15日

農業集落排水施設が完成 豊かな自然と清流守ろう

飯田町

平成三年度から飯田地区で工事が進められていた農業集落排水処理施設の落成式が三月一日、飯田町の現場で市長はじめ関係者約百人が出席して行われました。

式典で山下市長が「豊かな自然と清流を守るためにも重要な施設です。今後この事業を推進していくためのモデル施設として一役を果たしてく

れるものと確信しています」とあいさつしたあと、国や県市、地元の代表らが通水ボタンを押して完成を祝いました。

同処理施設は、飯田地区の住民約五百五十人分、一日平均約百五十立方メートルの生活雑排水やし尿などの汚水処理する能力を持ち、処理された水は農業用水として再利用されます。施設の外観は周囲の田



周囲の田園風景にマッチした外観の処理施設

園風景との調和を考えた白壁土蔵風で、管路施設を含めた総事業費は六億一千四百万円。市では、永吉・幡崎地区でも今年度中に処理施設を完成、一部で使用を開始する予定です。

持ち前のチームワークで栄冠をつかんだ鳥栖少年チーム



鳥栖少年サッカークラブ 創部19年悲願の初優勝

県内六十七チームが参加した第十五回佐賀新聞社杯県少年サッカー選手権大会の準決勝、決勝が三月六日、佐賀市の県総合運動場で行われ、鳥栖少年サッカーが北茂安少年サッカーを2-1で破り、悲願の初優勝を果たしました。

鳥栖少年は準決勝で小城黄城少年に5-1と快勝し、決勝は鳥栖・三神地区でしのぎを削るライバルの北茂安少年と対戦。試合前半は北茂安少年ペース。苦戦しながらも固い守りで再三のピンチをしのぎ、両チーム無得点。後半に入った四分、左サイドからドリブルで持ち込んだ江崎選手が均衡を破り、続く十分には今大会好調の桑原選手がダメ押しで二点目。十九分、一点を返し追いつく北茂安少年を退け、創部十九年目で初の栄冠をつかみました。

本命不在と言われた今大会、一試合ごとに自信をつけていった鳥栖少年は、持ち前のチームワークと優勝への執念で頂点に立ちました。

なお、鳥栖少年は準優勝の北茂安少年とともに三月二十七日・二十八日の両日、宮崎市で開かれた九州大会に出場しました。

6年生全員で 卒業バイキング給食

鳥栖北小

卒業を二週間後に控えた三月十一日、鳥栖北小学校で六年生児童ら約百二十人が卒業バイキング給食を楽しみました。

このバイキング給食は、子供のときからバランスのとれた食事とマナーなどを身につけてもらおうと、栄養士さんが発案。六年生児童らが実行委員会をつくって、会場の飾りつけや校長先生、事務室の

職員の方への招待状づくりなどの準備を進めてきました。テーブルの上には、ご飯類や肉類、生野菜、デザートなど、人間の熱や力になる食物、血や肉になる食物、体の調子を整える食物に分けられた皿が色あざやかに並べられ、児童らは、各種類から一品は必ず選ぶというきまりに従って、考えながら自分の皿につぎ分けていました。

職員の方への招待状づくりなどの準備を進めてきました。テーブルの上には、ご飯類や肉類、生野菜、デザートなど、人間の熱や力になる食物、血や肉になる食物、体の調子を整える食物に分けられた皿が色あざやかに並べられ、児童らは、各種類から一品は必ず選ぶというきまりに従って、考えながら自分の皿につぎ分けていました。



考えながら皿につぎ分ける生徒たち

昨年九月に新築された同校には、三クラスが一緒にいることができる多目的スペースが設けられ、これまでも同学年や他の学年との催しなどに利用していましたが、今回初めてバイキング給食を実施しました。

白鳩園 お年寄り招いて交流会 かわいい孫にほっこり

白鳩園で三月四日、園児と基里地区の一人暮らしのお年寄り十七人とのひなまつり交流会が開かれました。

交流会は、日ごろ寂しい思いをしているお年寄りに少しでも楽しい時間を過ごしてもらい、園児たちには小さい時からお年寄りに対するやさしさ、思いやりの気持ちを持つてもらおうと開いています。ひな人形が飾られた会場で

は、園児とお年寄りが向き合

って歌やゲームを楽しんだあと、一緒に給食。調理員さんが腕によりをかけて作った特別料理とかわいい孫たちを前に、お年寄りたちは「今日を指折り数えて待っていました」と目を細めていました。

同園では、五年ほど前から運動会の招待状や年賀状など園児が書いた手紙に、自分の似顔絵などを添えて基里地区



かわいい園児との話に目を細めるお年寄りたち

の一人暮らしのお年寄り約七十人に送っており、お年寄りからも「ありがとう。うれし

かった。絵が上手に描けていたね」といった返事の手紙が寄せられています。

第38回少年野球春季大会

中央区が2度目の優勝

三十八チームが参加して三月十三日に開幕した鳥栖市少年野球連盟第三十八回春季大会の準決勝・

決勝戦が同二十一日、市民球場で行われました。準決勝は中央区3-2宿町、加藤田町4-3原町。決

勝は延長十回に及ぶ熱戦の末、中央区5-2加藤田町で、中央区が昨年春の第三十六回大会に続き一年ぶり二度目の優勝を飾りました。

中央区は二回表、エース岡本選手が本塁打を放ち一点を先取。得点のチャンスはいくどとなく迎えながら無得点に終わっていた加藤田町も六回

裏にピッチャー岡選手のスクイズで一点を挙げ、同点に持ち込みました。

七回を終わり、試合は1-1のままで延長戦へ。しかし、延長戦も両チーム無得点に終わったため、決勝戦としては史上初の連盟特別ルールによる一死満塁からの得点合戦に突入しました。その十回表、

中央区の岡本選手が再び先制の本塁打を放って4点を加點。加藤田町も一点を返したものの追撃及ばず、5-2で中央区が優勝を果たしました。

耳の日記念演劇祭 歌や踊り通して理解深める

障害者と健常者が歌や劇を通して理解を深める「第三十五回耳の日記念演劇祭」が三月六日、中央公民館で開かれ、県内の手話サークルなど十三団体と市民ら約四百人が参加。耳や口の不自由な方たちと手話ボランティアらが、手話を使って歌や劇、踊りを披露しました。

市内からは、鳥栖ふれあい手話サークルと鳥栖手話の会の二団体が参加して、歌や踊りを熱演。また、県外から特別出演した佐世保市ろうあ者福祉協会の三人が力強く太鼓を打ちならし、会場を盛り上げました。同演劇祭は、佐賀県ろうあ者福祉協会が障害者とボランティア、健常者が交流を深め、障害者の積極的な社会参加を進めようと県内各地で開いているもので、鳥栖市では初めて。



衣裳をまとい、熱演する鳥栖ふれあい手話サークル

現在、県内にいる耳や口の不自由な方は約四百人。日ごろから県内に五十団体ほどある手話サークルと交流を深めています。が、市内でも今回参加した二団体約七十人のボランティアが耳や口の不自由な方たちと一緒に手話の勉強会などの活動が続けています。



接戦の末、優勝を果たした中央区チーム

トピックス

テープ図書をつくり続ける

橋本ゆかりさん(78歳、本町)

昭和四十三年、夫の故郷である鳥栖市へ。地元の方に溶けこみたい、社会に何か役立ちたいという思いと、本を読

むのが好きだったことから四十七年、県立点字図書館開館時の奉仕者募集に応募。県内第一号の朗読奉仕員となり、



これまでに九十分テープで三千本以上(一本で約四十ページ分)、約三百六十冊の本をテープに吹きこみました。

「当時はボランティアという言葉さえほとんど知られていない時代。テープ図書は点字図書館に二冊しかなくて

。何とかして蔵書数を増やしたいと思いました」

もつと朗読奉仕員を養成しようと五十二年、四人で朗読ボランティア

「朗読といってもただ読めばいいわけではなく、できるだけ共通語のアクセントで、間合いなども考えて読むことが大切。完全にマスターする

あんひと こんひと

②①

み、目の不自由な方に提供したりするほか、月二回は

会員が集まって、お互いのテープを聞き合つての勉強会を開いています。

「テープ図書も随分増えましたが、まだ十分とは言えません。今後は朗読の公開発表会なども開いて、市民の方にPRしていきたいですね」

①民生部生活環境課環境衛生係

武富 美津子



環境衛生係では、ごみ処理や減量化、飼い犬の登録、斎場に関することなど、みなさんの暮らしに身近な仕事をしています。昨年六月から「くうかん鳥」もメンバーに加わり活躍中です。私たちの鳥栖市を美しく、暮らしやすいまちにするために、ごみの分別収集、減量化、リサイクルにご協力をお願いします。

農業

新時代

＜35＞

「佐賀農業経営コンクール」 農林水産大臣賞受賞が決まる」

平成五年度佐賀農業経営コンクール・自立経営者部門で農林水産大臣賞に決まった齊藤隆義さん(江島町、53歳)。奥さんの和代さんとともにアスパラ六十と米麦六を栽培しています。

以前はレタスを栽培。レタス百二十箱五千円で出荷していたときに、アスパラは一箱一万七千円で取引き

「それからは毎日が勉強。高品質、高収益のためには日々努力が必要です」

なり、収穫量、収益が飛躍的に増加。現在のアスパラ栽培の原動力となりました。齊藤さんは同じアスパラ農家五人で研究会を組織。技術や情報交換を行います。「みんな良きライバルであり、よき友です。会合は夫婦同伴で出席しますが、いつも夜なべ談義になります。みんなが競争してがんばったのが、今につながっているんだと思いますよ」



「日々努力が必要」と齊藤さん夫妻

「私の日本人」

今から十数年前、ある新聞に「私の日本人もういない！ オランダ婦人傷心の離日」というニュースが掲載された。

この婦人は、日本を永住の地と心に決めて長崎市に住みつき、十五年間観光ナガサキの通訳として活躍したオランダ出身のステラ・フースミットさん（当時七十七歳）のことである。日本が大好きで来日し、日本で骨を埋める決意

だったステラさんが「私の日本人もういない」として、何故離日したのか。新聞には次のように紹介されている。

ステラさんは、日本的に言えば「明治人の気骨を持った人」でムダを許さない性格。電灯を消し忘れたり、水道を出しっ放しの人がいると怒鳴りつけるなど「やかましあさん」で通っていたという。また、まだ使えるテレビや

洗濯機がゴミとして捨てられているのを見ると「物を大切に。する精神を忘れていく」。

「日本独自の三味線も優れた楽器と思うけれど、若者は見向きもせず、あんなのやるのは芸者だけと馬鹿にし、伝統を軽視している」また日の丸と日本人についても「どの國もシンボルの国旗があり民族の誇りとしている。でも日本では『日の丸』を認める認め

ないで左右の勢力がぶつかっている」。

要するに日本人の、物を大切にしない「使い捨て文化」と、郷土や國を愛する心を忘れてしまっている点を痛烈に批判し、胸に描いてきた日本人像と、目の前の世相とが余りにもかけ離れ、失望して日本におさらばしたのである。

鳥栖市は三月定例議会に、廃棄物対策の改革・改善を提

案し、使い捨て文化からの脱却を願っているが、討議の中である議員より「不燃物回収のステーションに大きな仏壇が捨てられ、山麓地帯にも不法投棄が後を絶たない。抜本的対策が必要である」との意見が出されるなど、ゴミ問題についても事態は深刻である。

ステラさんのその後は知らないが、本当の日本人はいなくなるのだろうか。（山下）



「童心にかえられる」と四ヶ所さん

「以前は山登りをする友人の姿を見て、あんなきついことをよくするなあと思っていたんですが、

「居心地がいい集まりです。私も長く続けていたいし、女性や若い人が入会してくれるととっても楽しいんですが」と参加を呼びかけます。

鳥栖山岳会の会員は二十一人（女性三人）。年に十数回はキャンプや各地の山に登るほか、春・秋・冬の年三回、市民を対象にした登山も行っています。

「登山は春と秋が多くなりますが、雪がある時の山は神秘的で、一番好きです。一度でいいから冬の北アルプスに行けたらと思っています」

「山登りをすると何も考えず童心にかえられるし、自然の

の出会いには八年前、友人と太宰府の宝満山に登ったのがきっかけ。

「以前は山登りをする友人の姿を見て、あんなきついことをよくするなあと思っていたんですが、

Viva! ビバスポーツ③②

自然の中では人間なんてちっぽけ

中では人間なんかちっぽけで、私の悩みなんかつまらないことのように思えてきます」

鳥栖山岳会に所属する四ヶ所京子さん（39歳、秋葉町）。年一回北アルプスに登り、平均でも月一回は登山を楽しんでいます。登山と

実際登ってみると、心地よい風とともに鳥のさえずりや木の葉のすれ合う音が聞こえ、安らかな気持ちに……。自然に包みこまれているのを実感しました」

「登山は春と秋が多くなりますが、雪がある時の山は神秘的で、一番好きです。一度でいいから冬の北アルプスに行けたらと思っています」

さわやかさん ①②

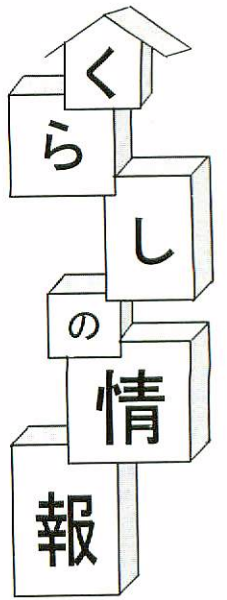
私たちは会社は明治四十年に創業。市内にある二つの工場で外用貼付剤を専門に製造し、製品は北陸をはじめ関東、関西地方へも出荷しています。

私はコンピュータを使った出荷伝票や請求書などの処理を担当。職場は会社とは思えないほど家庭的な雰囲気、和気あいあいと仕事をしてい

ます。会社には、社員全員での研修旅行があり、昨年香港へ。今年六月にはシンガポールへ連れて行ってもらう予定です。Jリーグの誘致や周辺から集まるような大きなイベント、若者が興味のある洋服や装飾品のお店などが増えれば、鳥栖市ももっと若者のまちなになるんじゃないですか。



（株）大石膏盛堂本社勤務
加藤 知恵さん
（24歳、宿町）



所 5月から毎週土曜日が 市休みになります

市役所（本庁・保健センタ
ー）は、今年五月から毎週土

曜日を休ませていただくこと
になりました。実施に伴って

募集

春の花壇コンクール

白薦、他薦を問わず、美し
い花々が咲き誇る自慢の花壇
をどしどしご応募ください。

資格 市内に居住または所在
する個人・団体で、花壇の面
積が三平方メートル以上であること

審査 五月中旬

申し込み 四月二十二日まで
に鳥栖市花とみどりの推進協
議会事務局（都市計画課内 ☎
3603）へ。応募用紙は
同事務局に用意しています。

中央婦人学級

期間 五月から来年三月ま
で

内容 栄養改善教室（月一
回・第三火曜日）、これからの
鳥栖市（月一回・第三水曜日）、
リフオーム教室（月三回・水
曜日）
資格 市内に居住する女性
申し込み 四月二十日までに
鳥栖北公民館・才田（☎3
631）へ

少年少女派遣事業 スタッフ

少年少女派遣事業実行委員
会では、市制四十周年を記念
して「まちづくり交流」をテ
ーマに八月二十四日から同二
十七日まで三泊四日の日程で
小・中学生を対象とした派遣
事業を予定しています。

そこで、この事業に参加す
るスタッフの募集説明会を次
のとおり行います。

平日の窓口業務を、これまで
の「午後五時まで」から「午
後五時十五分まで」に延長し
ます。

市では、今後とも行政サー
ビスと公務効率の一層の向上
に努めますので、市民のみな
さんのご理解とご協力をお願い
します。

なお、本庁と保健センタ
ー以外の保育所や斎場、図書館
、体育館、文化会館などの施設
は通常どおり業務を行います。

とき 四月九日（土）午後六
時
ところ 中央公民館三階会議
室

対象 市内に居住する十八
歳以上の方

申し込み 当日、直接会場へ。
なお、当日出席できない方は
鳥栖市子供クラブ連合会事務
局（☎3646）へご連絡
ください

福祉

身体障害者の ショートステイ

四月一日から在宅の重度身
体障害者の方を対象に特別養
護老人ホーム「真心の園」で
ショートステイ（短期入所）

のサービスを始めました。

介護に当たる家族の方が病
気や出産、旅行、冠婚葬祭な
どで一時的に介護ができなくな
った場合、原則七日以内で
お預りして、日常のお世話を
します。

利用する場合には若干の要
件がありますので、詳しくは
福祉事務所社会係（☎35
52）へお尋ねください。

福祉タクシー利用券 申請はお済みですか

平成六年度福祉タクシー利
用券の申請を福祉事務所です
て付けています。まだ、申請
されていない方は早めに手続
きをしてください。

対象となるのは在宅の障害
者の方で、一級または二級の
身体障害者手帳かAの療育手
帳をお持ちの方。申請の時は
身体障害者手帳または療育手
帳と印鑑をお持ちください。
詳しくは同事務所社会係（☎
3522）へ。

点字講習会

目の不自由な方のために点
字を覚えてみませんか。初心
者の方にも優しく指導します
とき 四月から六月までの
三か月間、毎週第二・三・四
木曜日午前十時～正午

ところ 社会福祉会館

講師 佐藤重利先生（久留
米市民図書館）

参加費 五百円（資料代）

主催 点字ボランティア葉
月会

申し込み 市社会福祉協議会
（☎3555）へ

階段のスロープ化など 設備の改善に補助

市では、不特定多数の方が
利用する民間の公共的な施設
（病院、銀行、スーパーなど）
で高齢者や障害者の方のため
に次のような設備の改善を平
成六年度中にする場合、その
経費の一部を補助します。

補助の対象となるのは①車
椅子用トイレの設置②階段の
スロープ化または段差の解消
③出入り口の自動ドア④障
害者用エレベーターの設置ま
たは改修⑤点字ブロックの敷
設や点字案内板の設置など。

補助には一定の要件などが
あります。詳しくは福祉事務
所社会係（☎3552）へ。

スポーツ

巡回二ユーススポーツ教室

種目はターゲットバードゴ
ルフ。教室は各地区ごとに開

きますが、どの会場でも参加
できます。時間はいずれも午
後七時半から（ナイター）。

会場 四月十五日（金）市
民球場▽十八日（月）基里運
動広場▽十九日（火）田代小
学校運動場▽二十日（水）麓
小学校運動場▽二十一日（木）
儀徳町運動広場

対象 高校生以上の方
申し込み 直接会場へ

問い合わせ 教育委員会社会
体育課（☎3522）

ファミリーハイキング

◆柚比連跡群コース：四月二
十四日（日）午前十時、田代公
民館集合

◆バードウォッチング（石谷
山）：五月二十九日（日）午前
九時、御手洗の滝駐車場集合

◆群集墳・河内ダムコース：
六月五日（日）午前九時半、田
代公園駐車場集合

◆フナ林を訪ねて（九千部山）
：十一月六日（日）午前八時半、
鳥栖北公民館集合

◆バードウォッチング（朝日
山）：一月二十九日（日）午前
九時、鳥栖西中正門前集合

※いずれのコースも参加無
料で、定員六十人。昼食、水
筒、雨具、タオル、筆記用具
などをお持ちください。申し
込みは教育委員会社会体育課
（☎3522）へ。

保健

国保加入のみなさんへ

平成六年度の鳥栖市国民健康保険被保険者証を三月中にみなさんのご家庭にお送りしました。

まだ、保険証を受け取られていない方は保健課健康保険係(☎3582)へ早めにご連絡ください。

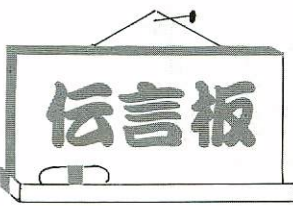
健康体操初心者コース

呼吸法を用いた健康体操(生命の貯蓄体操)初心者コースを開きます。参加無料。

とき 四月八日(金)から五月十七日(火)まで(計十回)、午前十時～十一時半

ところ 保健センター

持ってくるもの 体操ができる服装、靴下、健康手帳
申し込み 保健センター(☎3582)



第16回鳥栖「日本の童謡・唱歌を歌う会」

4月16日(土)午後1時～3時半、市民文化会館。会費800円(小学生以下は無料)。歌の上手下手、声の良し悪し、年齢などに関係なく、みんなで懐かしい歌の数々を一緒に歌いましょう。詳しくは江下サツキ(古賀町☎3176)へ。

グラウンド・ゴルフ大会

4月29日(祝)午前9時半、鳥栖西中学校グラウンド。参加料は市グラウンド・ゴルフ協会会員200円、会員以外500円。申し込みは4月22日までに申込書と参加料(現金書留または郵便小為替)を添えて、鳥栖市グラウンド・ゴルフ協会事務局(〒841鳥栖市宿町1118番地・教育委員会社会体育課☎3522)へ。なお、申込書は同事務局に用意しています。

鳥栖陸上競技教室

4月16日(土)から毎週土曜日午後2時～4時、鳥栖西中学校。対象は小学生から高校生までの児童・生徒。参加無料(ただしスポーツ傷害保険料など400円が必要)。鳥栖市陸上競技協会主催。申し込みは各小・中学校に用意している申込書を添えて田中直文(鳥栖西中学校内☎2086)へ。

危険物取扱者試験

5月29日(日)午前9時(甲種・乙種の一部)▷午後1時(乙種の一部・丙種)、佐賀西高等学校。申し込みは4月8日から同15日までに(財)消防試験研究センター佐賀県支部へ。願書は鳥栖・三養基地区消防事務組合に準備しています。詳しくは同消防事務組合予防課危険物係(☎7996)へ。

☎3650)へ。先着三十人で締め切ります

赤十字救急法実践講習会

日本赤十字社では、五月八日の世界赤十字デー全国統一キャンペーンとして、救急法実践講習会を開きます。

とき 五月八日(日)午前九時半～十一時

ところ 社会福祉会館

内容 人工呼吸、心マッサージ、止血法など

申し込み 四月二十五日までに市社会福祉協議会(☎3555)へ

ご存じですか

ご協力をお願いします 事業所名簿整備調査

四月二十日現在で、民営のすべての事業所を対象に事業所名簿整備調査が行われます。

この調査は、事業所の新設や廃業、事業の種類や従業員数などの異動状況を簡易な方法で調査して事業所の変動状況を明らかにするとともに、事業所名簿の補正・整備を行い、事業所を対象とした各種統計調査の基礎資料とすることを目的としています。

調査項目は事業所の名称、所在地、従業員数、事業の種類などの四項目です。四月二十日から調査員が事業所にお伺いします。ご協力をお願いします。

詳しくは企画課広報統計係(☎3513)へ。

固定資産課税台帳の縦覧

平成六年度の固定資産課税台帳の縦覧を次の日程で行います。詳しくは税務課固定資産係(☎3589)へ。

とき 四月一日から同二十日まで午前八時半～午後五時
ところ 市役所税務課固定資産係

産税係

縦覧できる方 固定資産の所有者、納税管理人など
持ってくるもの 印鑑
(訂正) 前号六ページ、すこやかセ

正します。

飼い犬の登録注射

平成六年度の畜犬登録と狂犬病予防注射を四月に表の日程で行います。

対象は生後九十一日以上の犬で、登録注射料は五千三十円。

期間中においてにない場合は、獣医師で個別に受けてください。

詳しくは生活環境課環境衛生係(☎3560)へ。

と	き	ところ
8日(金)	10:00～11:30 13:30～15:00	田代公民館 基里公民館
11日(月)	13:30～15:00	麓公民館
12日(火)	10:00～11:30 13:30～15:00	旭公民館 鳥栖北公民館
13日(水)	10:00～11:30 13:30～15:00	旭公民館 神辺町公民館
14日(木)	10:00～11:00	基里公民館
15日(金)	10:00～10:15 10:35～10:50 11:10～11:25	飯田町公民館 高田町公民館 下野町公民館
17日(日)	9:00～12:00	鳥栖市役所
19日(火)	10:00～11:00 13:30～15:00	麓公民館 旭公民館
20日(水)	13:30～14:30	田代公民館
26日(火)	9:30～10:30 11:00～12:00	鳥栖北公民館 鳥栖公民館

高齢者就職情報

高齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みがあつています。

詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。

●夜間警備員(市内)：男十八～六十歳、十三万三千七百～十三万七千円

●倉庫管理(藤木町)：男五十～六十歳、十四万四千円

●雑役(轟木町)：男五十五～六十歳、十二万五千～十三万七千円

●伝票整理作業員(曾根崎町)：男四十～六十歳、時給七百元

●組立工(村田町)：女十六～六十歳、時給五百八十円

●洗濯係(平田町)：女二十～六十歳、十二万五百円

中世山城と筑紫氏

②② 筑紫氏 その二十一

前回掲載しました「筑紫広門起請文」には、天正十二年（一五八四）十二月七日の日付が入っています。この年三月二十四日、肥前の熊と近隣の諸豪より恐れられた龍造寺隆信が、沖田畷（島原市）の戦いで有馬・島津連合軍に討ち取られます。この隆信の死によって、北部九州を巡る戦国武将間のパワーバランスが大きく崩れます。

その口火を切ったのが豊後の大友氏で、その間のことを『九州治乱記』では「大友勢筑後國亂入所々軍の事」として収録しています。それによれば「……一、斯かる處に同六月、豊後より隆信戦死の由を聞き、彼の領地を切取るべき時此節なりと、大守大友義統下知を加へ、……肥後・筑後の間に差向けけり。此勢、既に黒木表、野田・耳納に著陣し……」と記しています。

この大友勢の筑後乱入によって、筑後全域が大友勢と龍造寺勢に二分され、互いに戦闘を繰り返します。このような状況のなかで、龍造寺政家と筑紫広門の間に取引交わされたのが先の起請文で、筑紫勢は龍造寺方の一翼としてしばしば筑後へ出陣しています。この一



朝日山から高良山方面を望む

消えゆく民具

—生活用具編—



⑤⑤ 蓑

蓑は雨や雪をしのいだり、日光や寒さを除ける際に着用するものです。多くは稲ワラやスゲ、シユロ、カヤなどを

材料にしますが、地域によってはフジやヤマブドウなどのツル皮で編んだものもあります。外側は編み放して鳥の羽毛のようにして水分がきれやすくし、内側は網のように編まれています。

農作業を象徴する蓑

蓑は身体のだこを覆うかによって分類され、背を覆う背蓑、肩を覆う肩蓑、両肩から背お

よび胴までを覆う胴蓑、肩から全身を覆う丸蓑、腰だけを覆う腰蓑に分けられます。写真のものは胴蓑で稲ワラ製。鎗田町の栗山徳次さんから先月いただいたもので、お父さんが作られたそうです。蓑は農作業を象徴する着衣でしたので、昔の若い人達は、色糸を使い、編み模様を美しく出して作り、恋人などに贈っていたそうです。現在ではビニール製の雨合羽に変わり、蓑は民芸品としておみやげ店などで売られるようになりました。



今月の表紙

今の小学1年生が40歳になるのは西暦2028年。そのころ鳥栖市はどんな姿になっているのでしょうか。この子供たちのためにも、私たちはよりよいまちづくりを進めていかなければなりません。卒業式の準備の忙しい合い間に撮影に協力していただいた鳥栖北小学校の児童のみなさん、そして先生方。ありがとうございました。



市の花ハナシヨウブ



市の木モチノキ

◆赤ちゃんの写真を募集 「パパ撮って」に掲載する赤ちゃんの写真とひと言を添えて企画課広報統計係(☎53513)へ

パパ撮って



高原博之さん洋子さんの長女
亜里沙ちゃん
(八か月・養父町)

●ママからひと言
もっとおちゃめになって可愛くなってネ

人口

平成6年3月1日現在
()内は前月との比較

総数	56,260人	(+75)
男	26,843人	(+43)
女	29,417人	(+32)
世帯数	17,545世帯	(+87)

4月の納税

軽自動車税(全期)

納期限●5月2日
(口座振替は4月28日引き落とし)

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合
TEL 84-2500
水道の修繕はすべて上記へお申し込みください